**第１０回観察会　2004年１月24日(土) 10:00～11:00　晴れ**

**テーマ『一月の植物園―鳥の観察 Prat II―』**

今回は冬季ならではの鳥の観察です。ガイドさんが教えてくださったのは最初から鳥を双眼鏡で追うのではなく、まず目を閉じて声を聞いてみる。そしてつぎは肉眼で鳥のすがたをさがす。枝に止まっているシルエットや飛びかたの特徴をとらえる。それからやっと双眼鏡の操作方法を教えていただき、遠方に置かれた鳥の図を双眼鏡で見る練習をしました。ガイドさんによると20種の鳥がいたようです。われわれ初心者はこのうち数種しか認識できませんでしたが・・・。ゆっくりあわてず時間をかけてそれらの鳥たちと交流ができるようになりたいですね。

観察された野鳥（ガイドさんより）：　　　　　　　　　　　　　　　　アオサギ、トビ、キジバト、コゲラ、アオゲラ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、ジョウビタキ、ツグミ、シロハラ、ウグイス、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、カワラヒワ、イカル、ホオジロ、アオジ、ハシブトガラス

ガイド：梶田学さん（京都大学理学研究科動物学教室）

**☆参加者の感想**

参加者の感想文です。実名・匿名の指定がない方はすべて匿名にいたしました。ご了承ください。

* 広い場所でじっくり見られました。ポイントをおしえてもらってうれしいです。さまざまの鳥がいるのですね。ありがとう。　　　　　（近所のかた）
* 目を閉じて鳥の声に耳をすました時の落ち着いた雰囲気が非常に快かったです。今度は自前の双眼鏡を買って来て鳥を探したいと思います。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（文学部学部生　荒木勇輝さん）
* 名前を初めから聞かない。双眼鏡も使わない。目をつむって耳を澄ます。とても意味深いよい方法でした。忘れていた感覚を刺激されました。折りを見て身近なところに出かけ、感覚をみがきたいと思います。鳥を探すことを通じて五感が甦ることに気づかされました。ありがとうございます。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（近所のかた）
* 双眼鏡は使うのが難しかったが、しだいに慣れた。おもしろかったです。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（農学部院生）
* とても有意義な経験となりました。「必ずしもたくさん種類を見なくてもいい」「最初は肉眼と耳でさがす」「最初から名前を言わない」というガイドの方の考えが、私はとても心地よかったです。双眼鏡で1羽でも鳥をみられるようになると、ずいぶん見え方が変わってくるんだなと思いました。今まで鳥は声しか聞こえないし、双眼鏡で見てもうまく見えないし、名前も分からないしでなんか苦手でしたが、気楽に見たらいいんだと分かりました。もっと見てみたいと思えるようになりました。休みの日だとゆったり見られてよかったです。今後も休日にこのような機会がふえればいいと思います。平日では、鳥をじっくり見ることは難しかったと思います。　　　（農学部学部生　坂本三和さん）
* 双眼鏡で特徴をみきわめるまで観察することのむずかしさを知った。色がよくみえなかったり、支えて見上げつづける筋力がなかったり。継続して目と腕をきたえたいと思った。　　　　　　　　　（動物学教室院生）
* 双眼鏡をうまくつかえるようになり、大変楽しかったです。、寒かったので、今度はもっと着込んで来ようと思います。コゲラを双眼鏡でみたかったです。また個人的に植物園に来ようと思います。　（農学部学部生）
* 大きなとりをみて、またあえたらいいなとおもいます。　　　　　（近所の小学1年生の女の子）
* 鳥をみるのはなかなかむずかしい。肉眼で見つけるのもむずかしい。集中力、眼力が必要かな。よい経験になりました。楽しかったです。（近所のかた）
* 大きなとりの名まえをわかってうれしかったです。　　　　　　（近所の小学１年生の男の子）
* 普段気付かなかったことに気が付いてすごく勉強になりました。鳥の声から見付けることや、いろんなところに生物が住んでいることがわかりました。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（近所のかた）
* 耳で鳥を探すことが大切だと実感。双眼鏡をもつとついつい目で探してしまう。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（京都工芸繊維大学　脇坂英弥さん）
* 鳥は初めてで、楽しかった。　　　　　　　　　　　　　　　　　（学外のかた）
* 久しぶりに鳥の観察が出来て面白かった。サギとか大き目の鳥しか見たことがなかったのですが、イカルなど名前しか知らなかった鳥を意識的に見ることができてよかった。　　　　　　　　　　　　（学内のかた）
* 野鳥の観察は初めてだったのですが、見方がわかると楽しさがわかりました。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（農学部職員のかた）
* しかった。土曜日で子供もいっしょに参加出来てよかったです。双眼鏡の使い方も教えてもらえてよかったです。葉を落とした木々のシルエットがきれいでした。　　　　　　　　　　　　　　　　　（地球研近所の母子）
* THANKS！　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（外国のかた）
* イカルがとても面白かった！ありがとうございます。　　　　　　（工芸繊維大学教官）
* たまたま植物園の前を通りかかると人だかりがしていたので、そのまま参加しました。散歩ができて気持ちよかった。鳥の名前は最後に聞けるだろうと思い、最後までついていったが、調べるとのことで、そのほうがいいよなと思った。双眼鏡ほしい。　　　　　　　（学内のかた）
* 今回は鳥を観察する。まずは声を聞いてみる。目を閉じて耳を澄ますといろんな鳥の声がきこえる。遠くの山に行かなくても、身近な場所で自然を感じることができ、植物園の大切さを感じる瞬間でもあった。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（学外のかた）
* 寒いなか、たくさんの人が参加されていて、いい感じでした。たかいところにとまっている鳥を見つけるのはむずかしかった。でも鳴き声は、けっこういろいろなのがきこえました。観察のしかたというか可能性ってたくさんあるんだなアと思いました。　　　　　　（梶原玲子さん）
* 双眼鏡の使い方が少しわかった。望遠鏡を鳥に合わせてもらい見るのが楽しかった。機会があればまた出席したい。ありがとうございました。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（学外のかた）
* 今回は土曜日ということで母と一緒に参加させていただきました。朝の植物園はとても気持ち良く、鳥の見つけ方等丁寧に教えていただき、あっという間に時間が過ぎてしまいました。また今度も土曜日や日曜日ならゆっくり参加できて嬉しいです。いろんな鳥がいることを教えていただき、いつものお散歩がまた違って楽しめそうです。ありがとうございました。　　　　　　　　　　　　　　　　（学外のかた）
* 土曜日なので時間がたっぷりあってよかった。ガイドさんの鳥を探す目の鋭さ、良さに感服した。また参加したい。　　　　　　　　　（学外のかた）